

5. 主要離島の満足度に関する分析

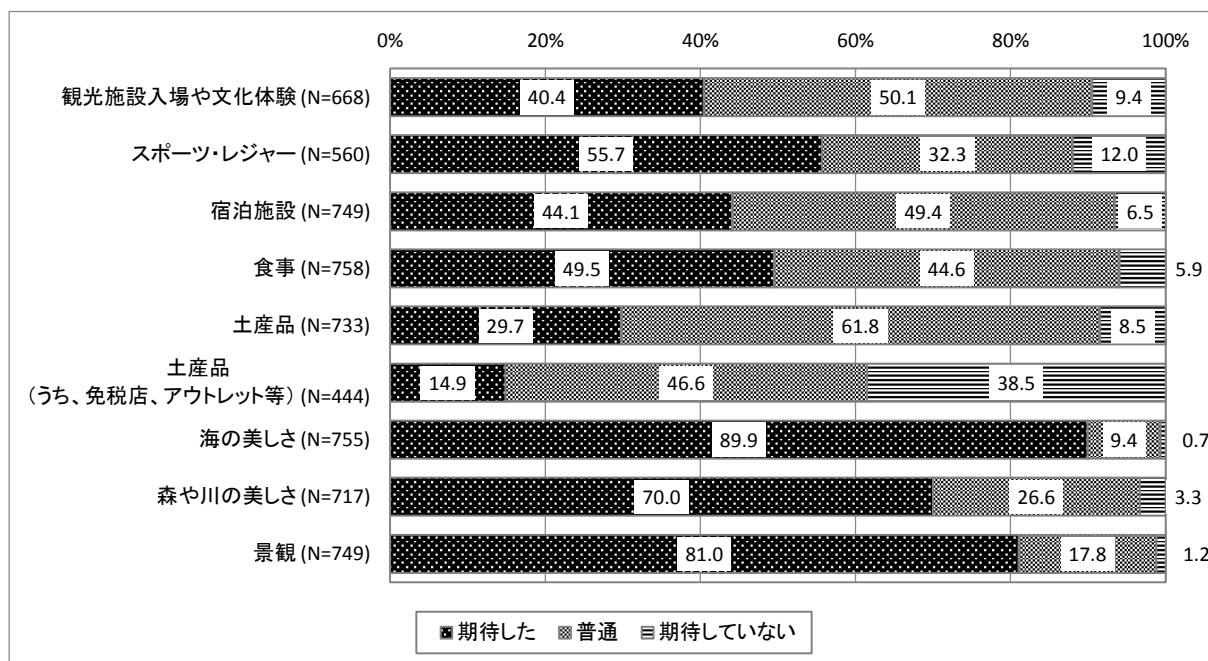
5. 主要離島の満足度に関する分析

5-1. 離島旅行への期待度

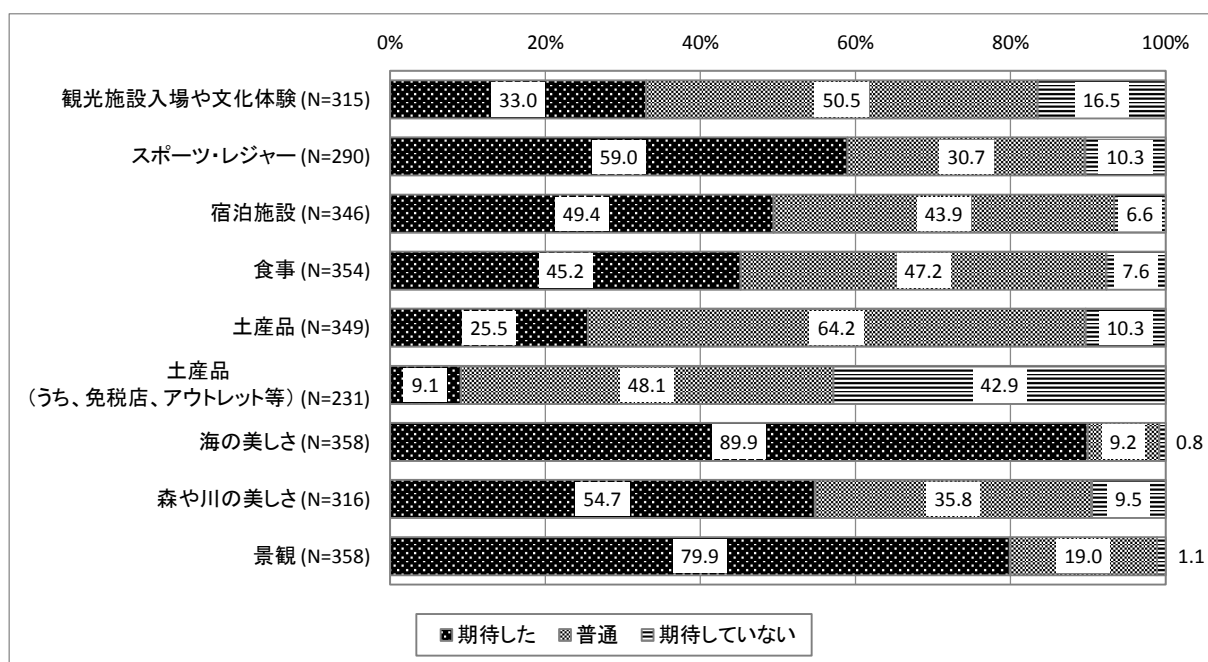
主要離島（八重山圏域、宮古圏域、久米島）ごとに離島旅行への期待度を示す。“期待した”比率について主要離島間と沖縄県全体とで比較をすると、『海のみしさ』や『景観』では八重山圏域と宮古圏域のどちらも高く、加えて八重山圏域では『森や川のみしさ』、宮古圏域では『宿泊施設』の期待度が高い。（図表5-4）

(1) 離島旅行への期待度

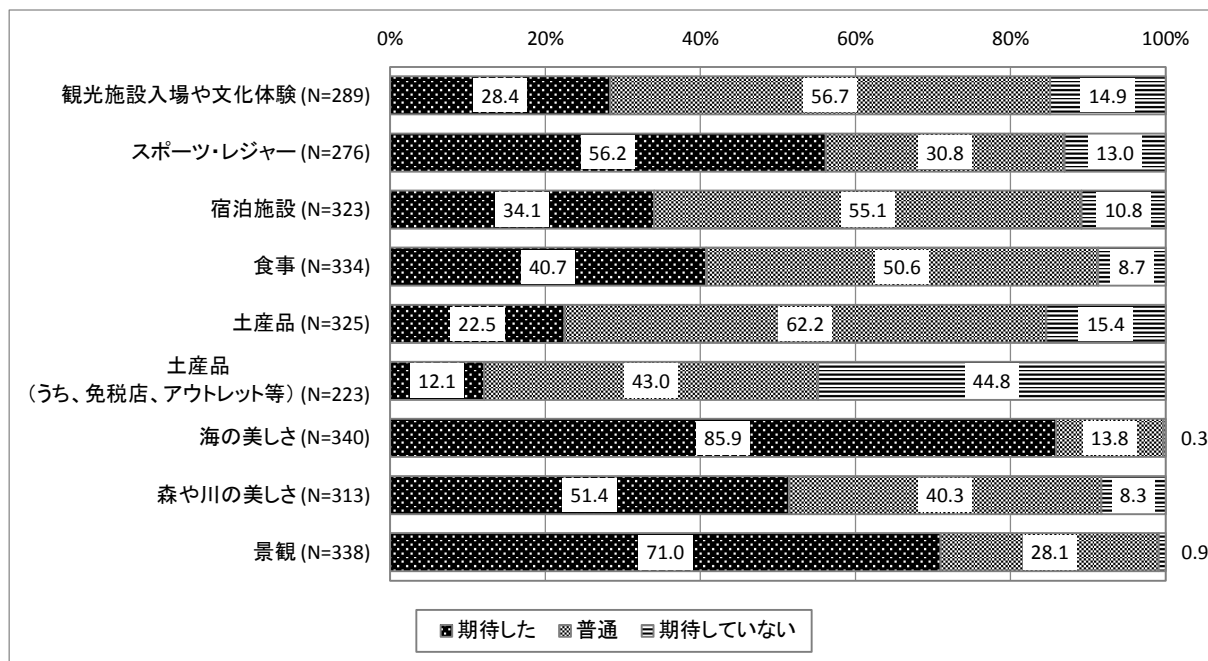
図表 5-1 八重山旅行への期待度



図表 5-2 宮古旅行への期待度

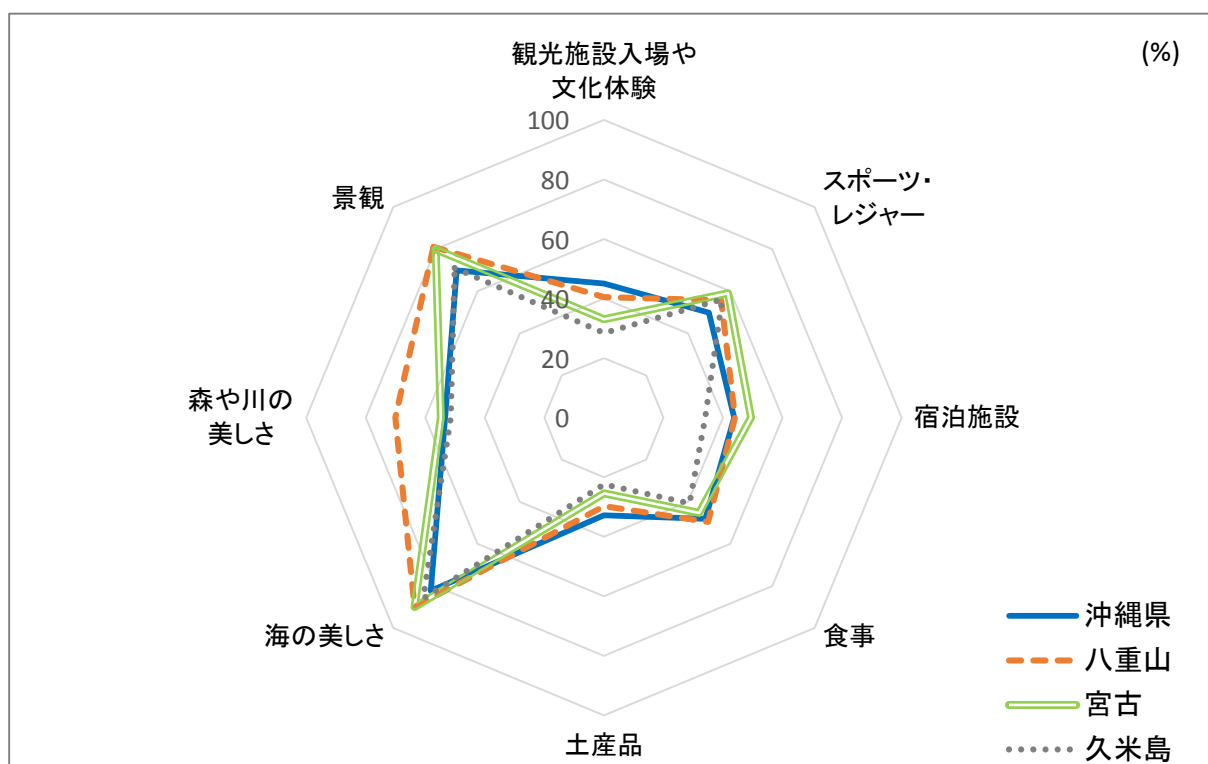


図表 5-3 久米島旅行への期待度



(2) 離島間の比較

図表 5-4 離島間の“期待した”比率の比較 (期待度)

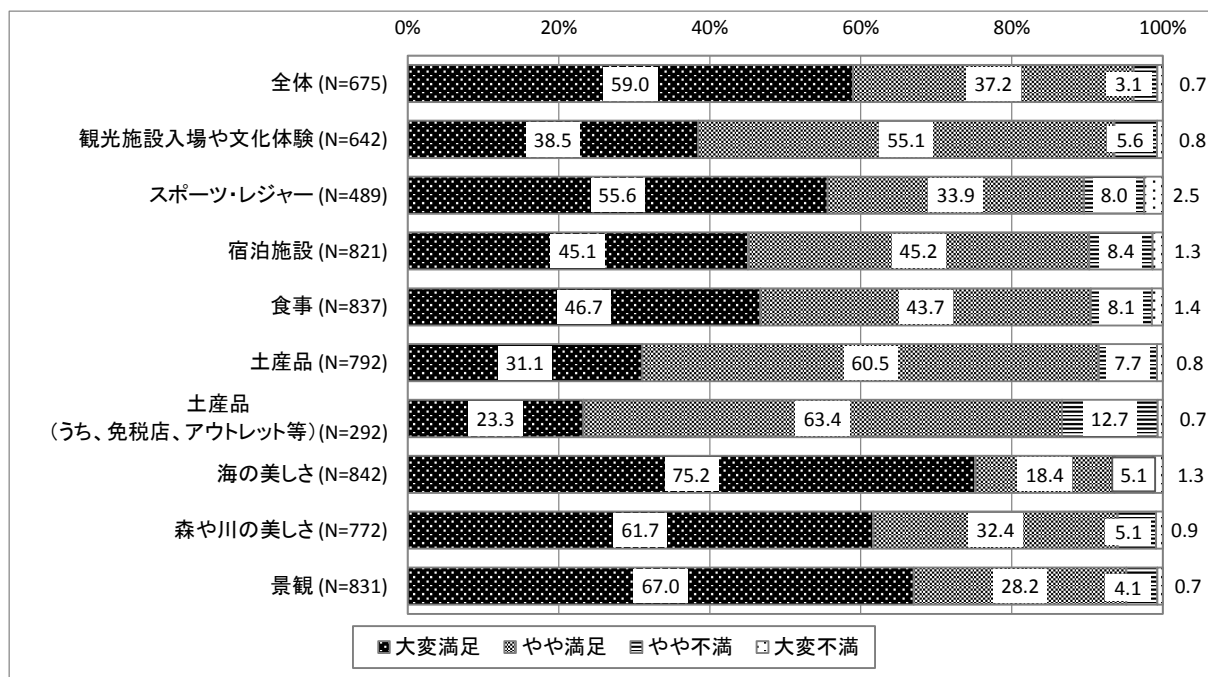


5-2. 離島旅行の満足度

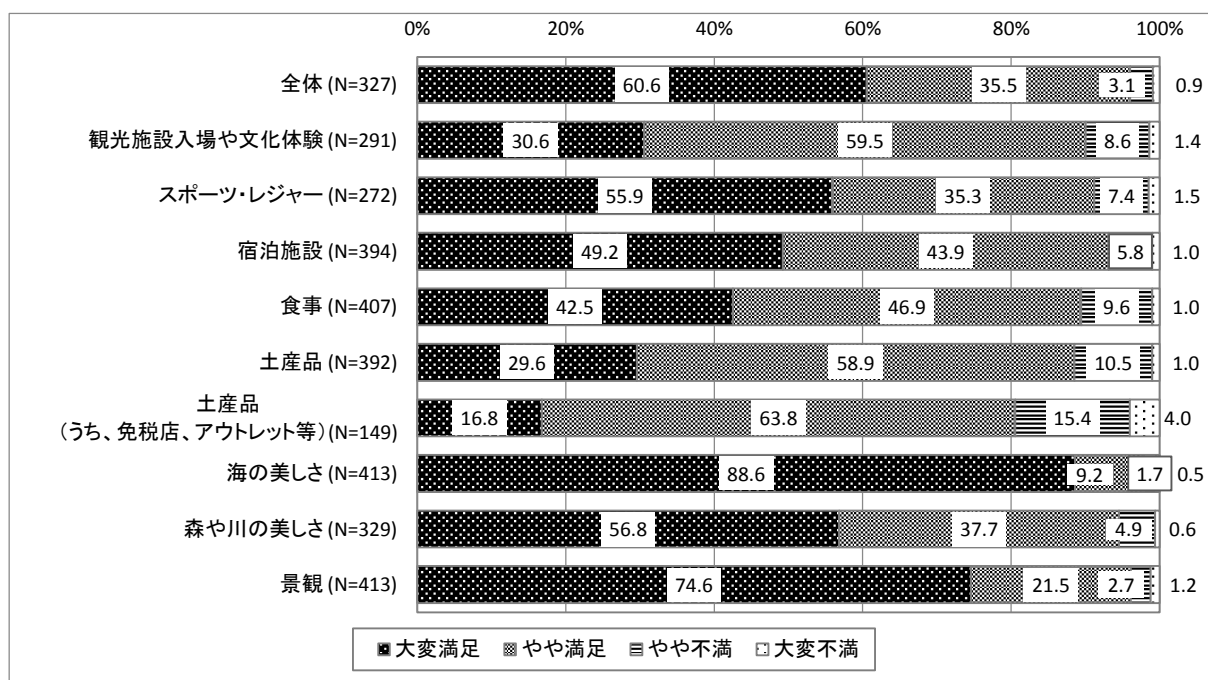
離島旅行の“大変満足”比率について主要離島間と沖縄県全体とで比較をすると、『海のみしさ』や『森や川のみしさ』、『景観』の点では沖縄県全体よりも八重山圏域や宮古圏域、久米島の方が高い。一方、『観光施設入場や文化体験』、『宿泊施設』、『土産品』では久米島より沖縄県全体の方が高い。八重山圏域と宮古圏域を比較すると、『海のみしさ』や『景観』の満足度では宮古圏域が高く、『森や川のみしさ』の満足度では八重山圏域が高い。(図表5-8)

(1) 離島旅行の満足度

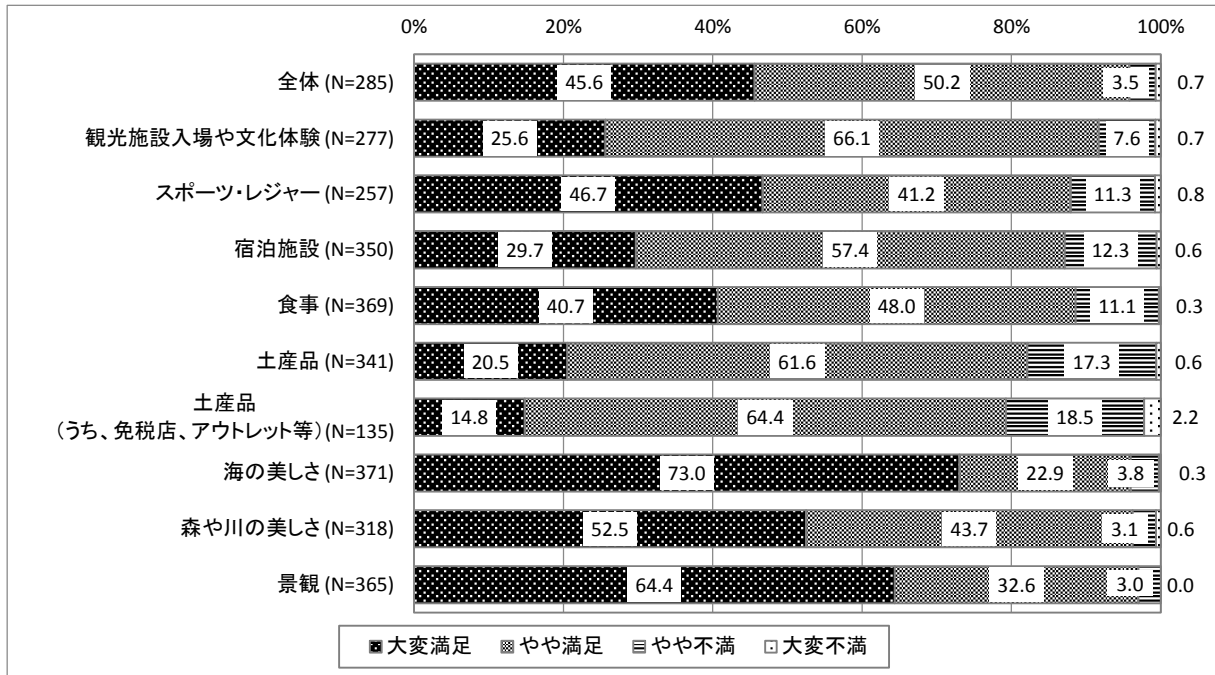
図表 5-5 八重山旅行の満足度



図表 5-6 宮古旅行の満足度

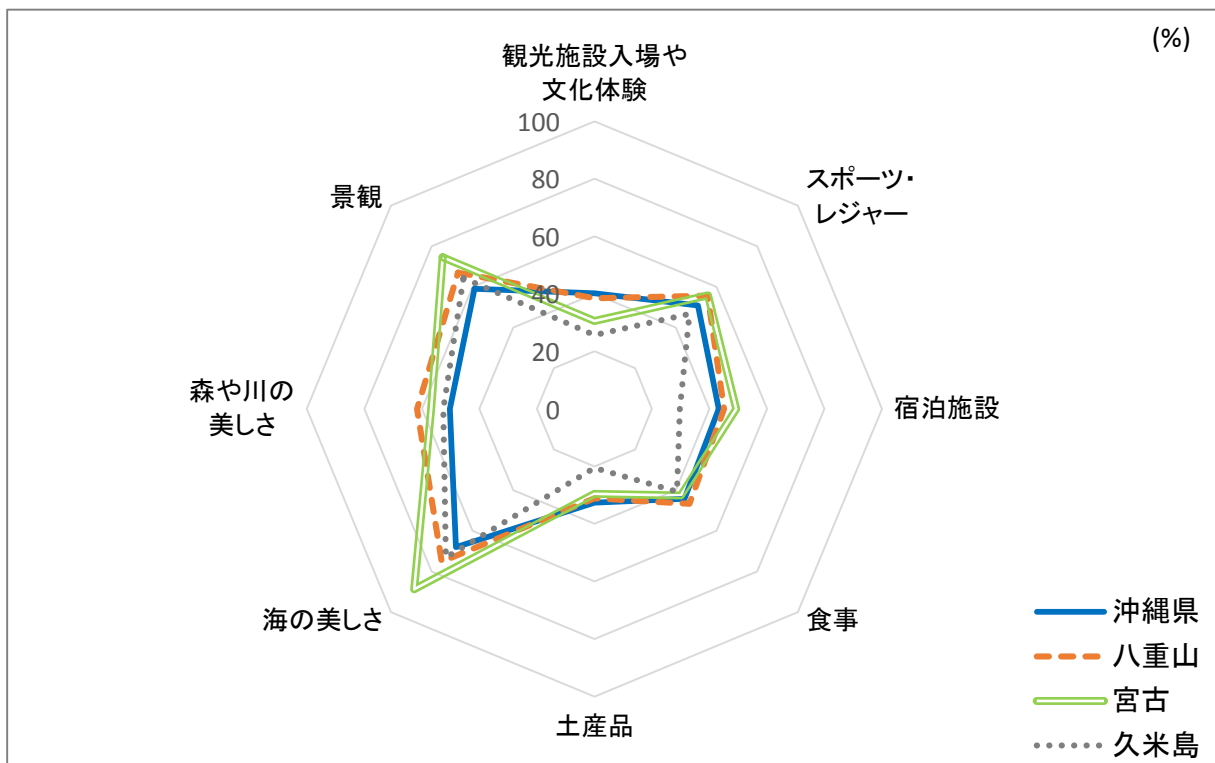


図表 5-7 久米島旅行の満足度



(2) 離島間の比較

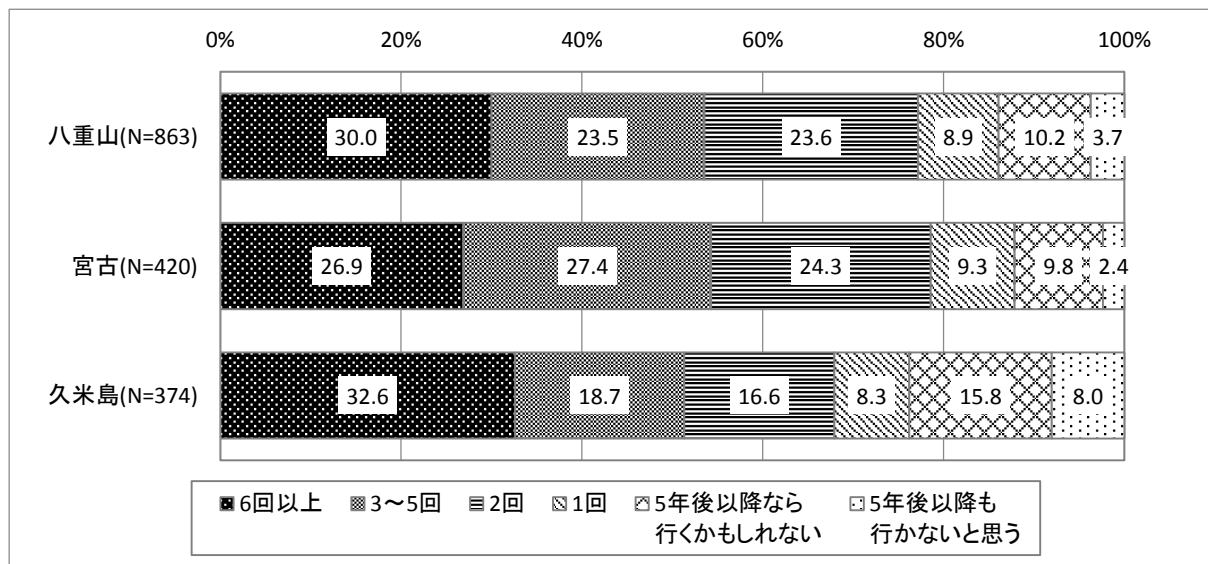
図表 5-8 離島間の“大変満足”比率の比較 (満足度)



5-3. 今後5年間の再訪意向

今後5年間の再訪意向について、今後5年間で少なくとも1回以上の再訪意向を持っている人の比率は、宮古圏域で最も高く87.9%であった。久米島は“6回以上”の比率が最も高いが、“5年後以降も行かないと思う”の比率も同様に高い。(図表5-9)

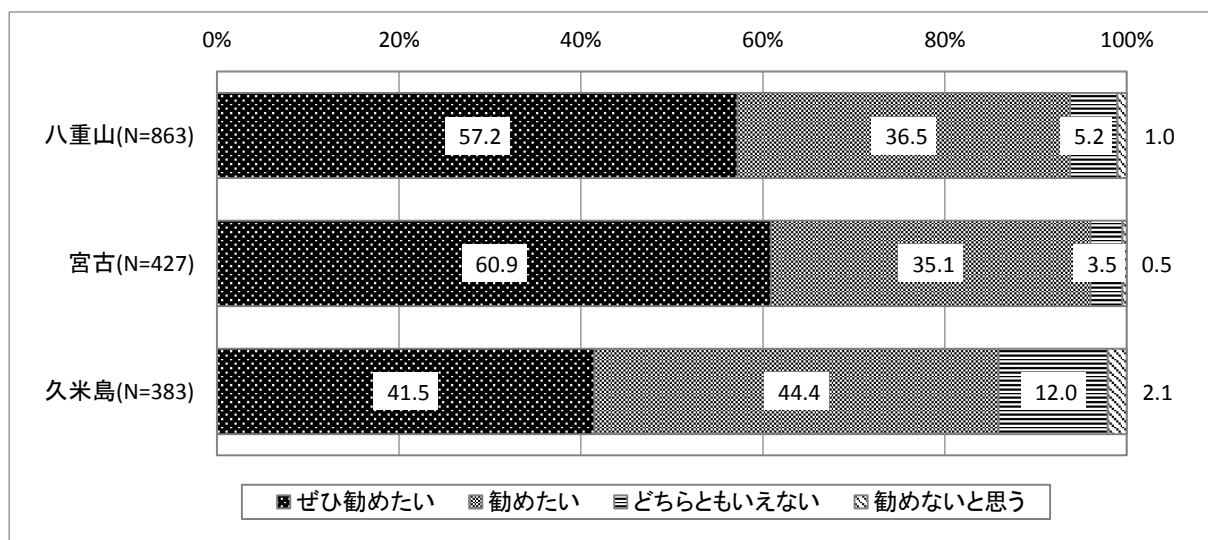
図表 5-9 今後5年間の再訪意向 (離島)



5-4. 人への推奨意向

人への推奨意向について、“ぜひ勧めたい”の比率は宮古圏域で最も高く60.9%であった。久米島は“ぜひ勧めたい”よりも“勧めたい”とする比率の方が高い。(図表5-10)

図表 5-10 人への推奨意向 (離島)

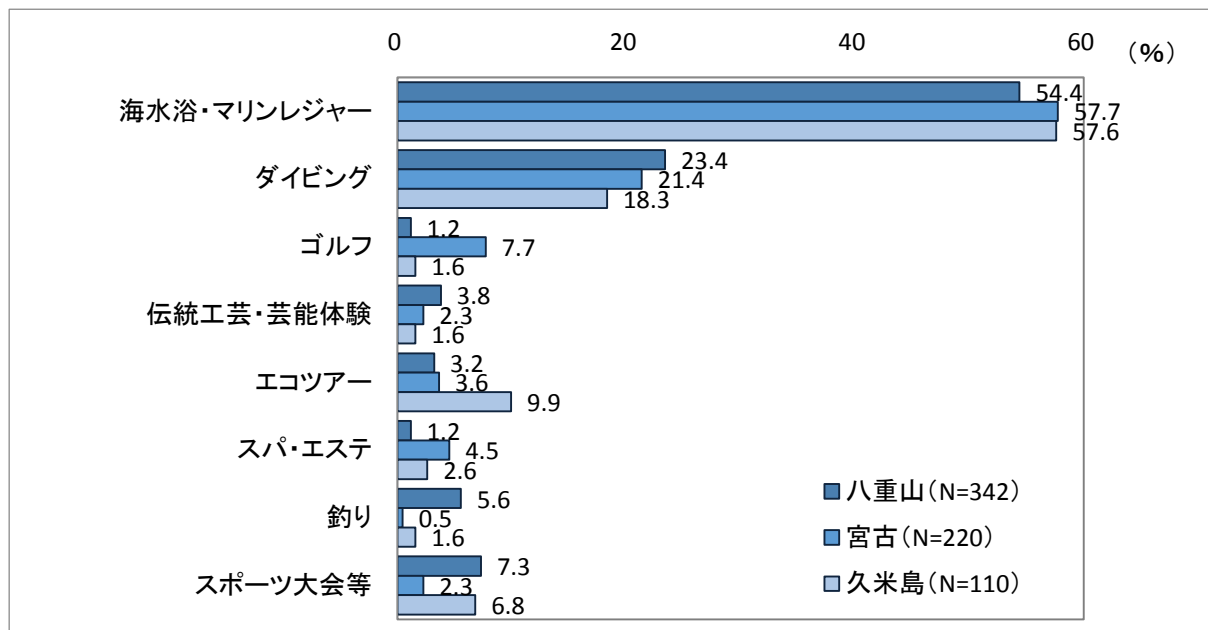


5-5. 体験活動の満足度

最も印象に残った体験活動は、ほとんどが「海水浴・マリレジャー」と回答している。(図表5-11) 体験活動の“大変満足”比率について主要離島間と沖縄県全体とで比較をすると、『料金』では宮古圏域が高く、久米島が低い。『活動の内容』や『接客・サービス』では八重山圏域と宮古圏域で特に高い。(図表5-12)

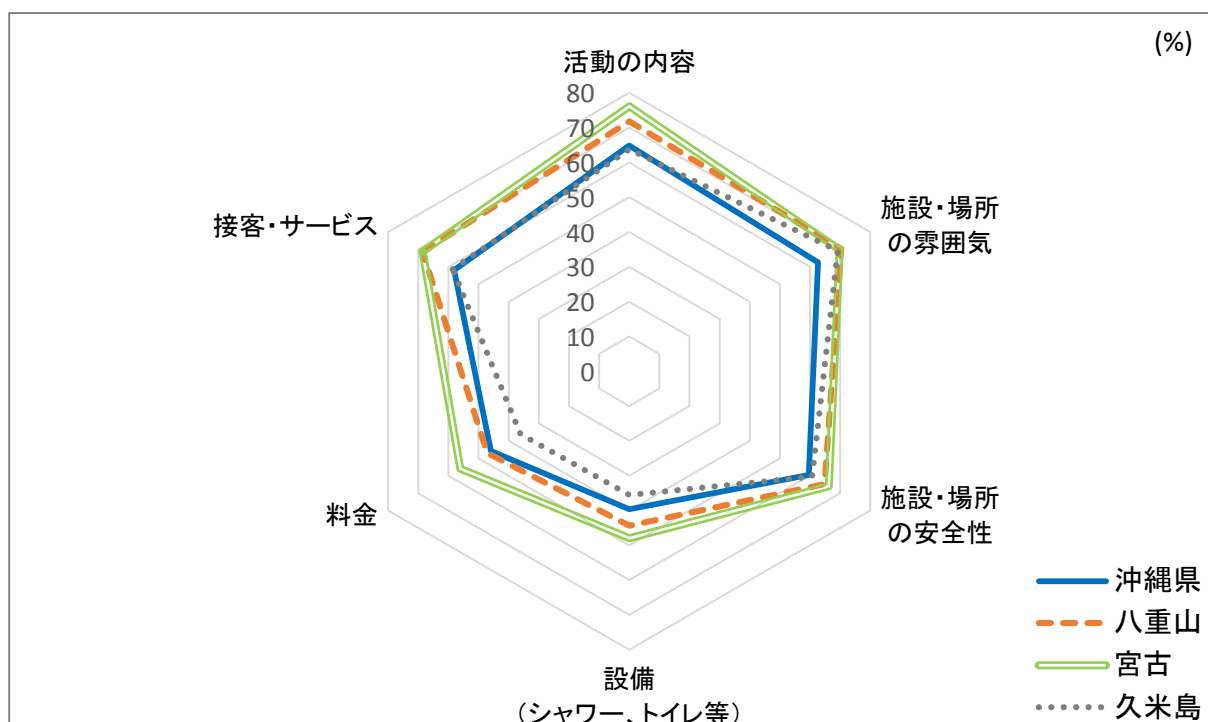
(1) 最も印象に残った体験活動

図表 5-11 最も印象に残った体験活動



(2) 満足度の離島間比較

図表 5-12 離島間の“大変満足”比率の比較（最も印象に残った体験活動）



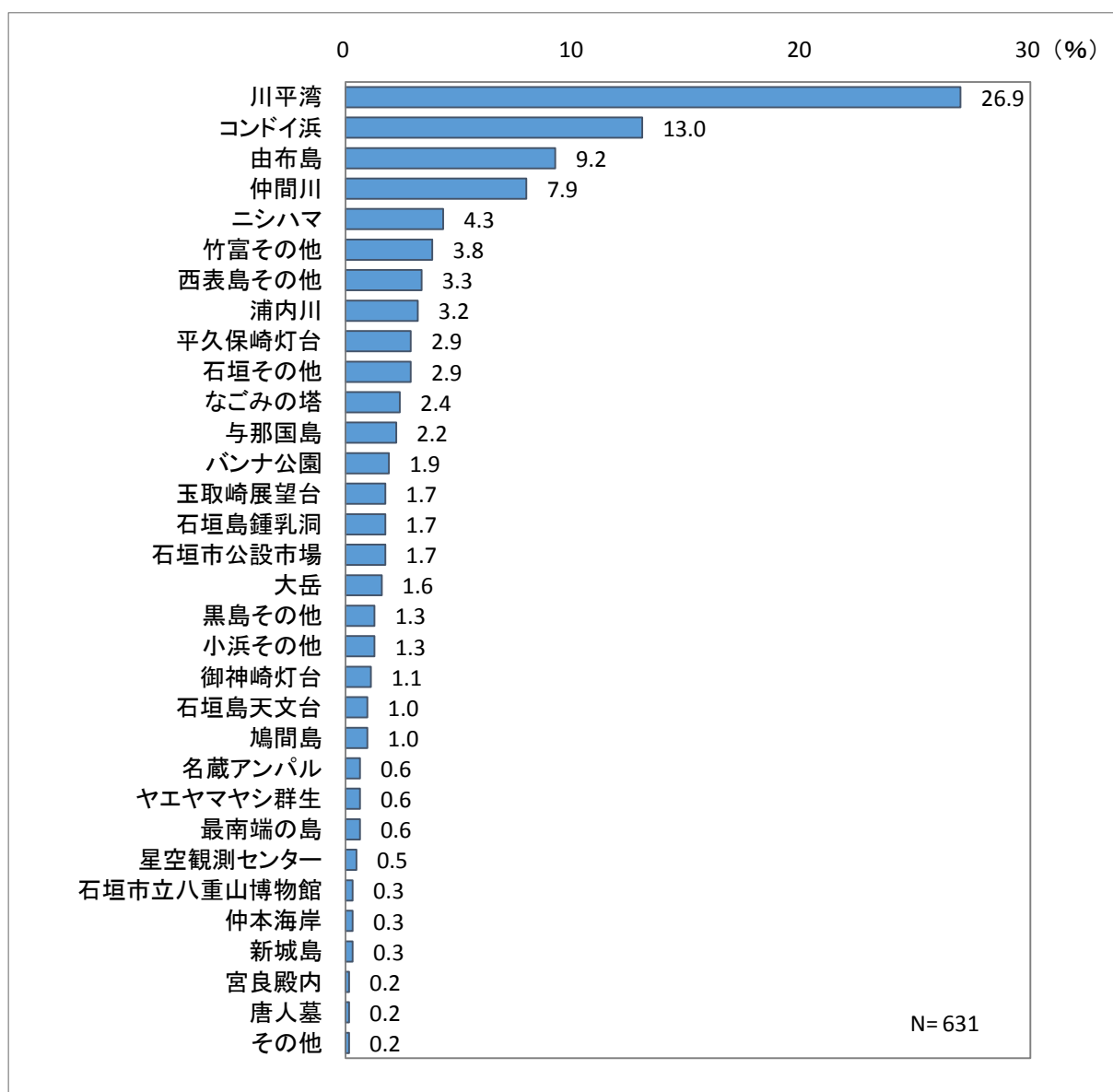
5-6. 観光地・観光施設の満足度

最も印象に残った観光地・観光施設で選択が多かったのは、八重山圏域で「川平湾」や「コンドイ浜」、宮古圏域で「伊良部大橋」や「与那覇前浜ビーチ」、久米島で「ハテの浜」や「イーフビーチ」と、ほとんどが海やビーチを回答している。(図表5-13、14、15)

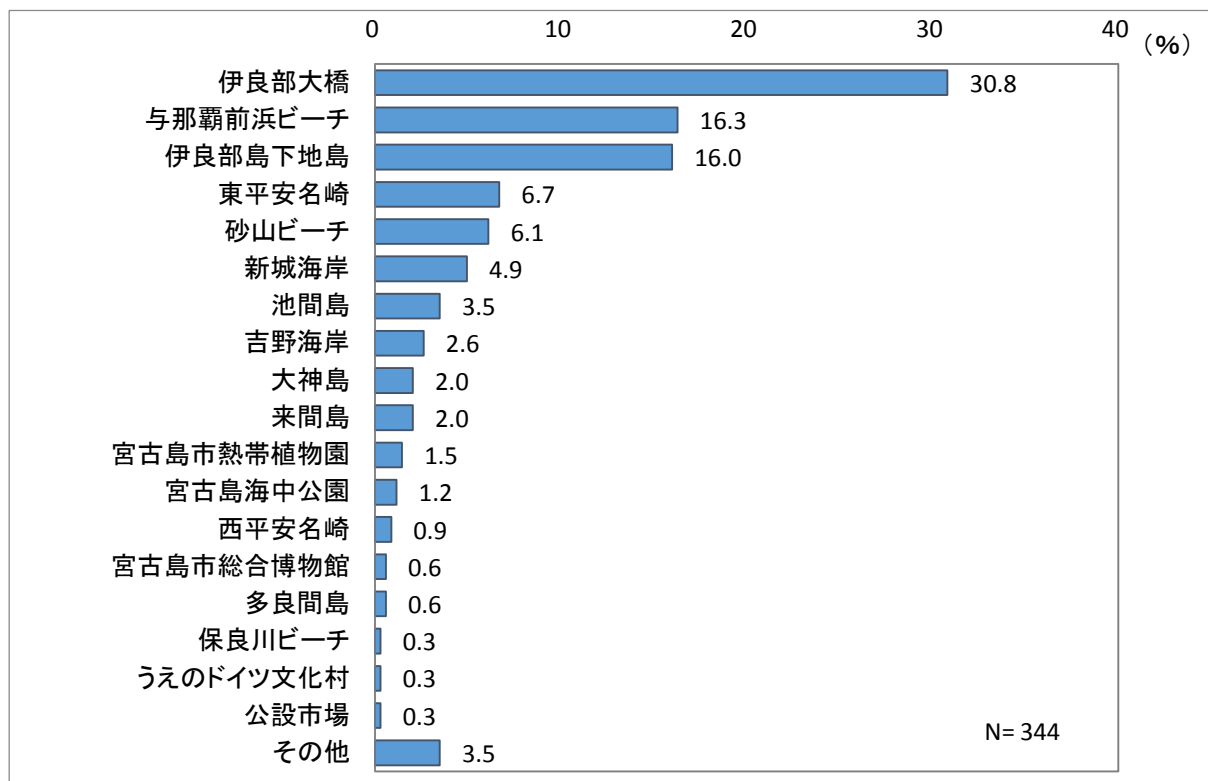
観光地・観光施設の“大変満足”比率について主要離島間と沖縄県全体とで比較をすると、『内容(展示・体験・風景等)』や『接客・サービス』、『入場料金』では宮古圏域が高い。八重山圏域と久米島の満足度は、全ての項目において沖縄県全体と宮古圏域よりも低い。(図表5-16)

(1) 最も印象に残った観光地・観光施設

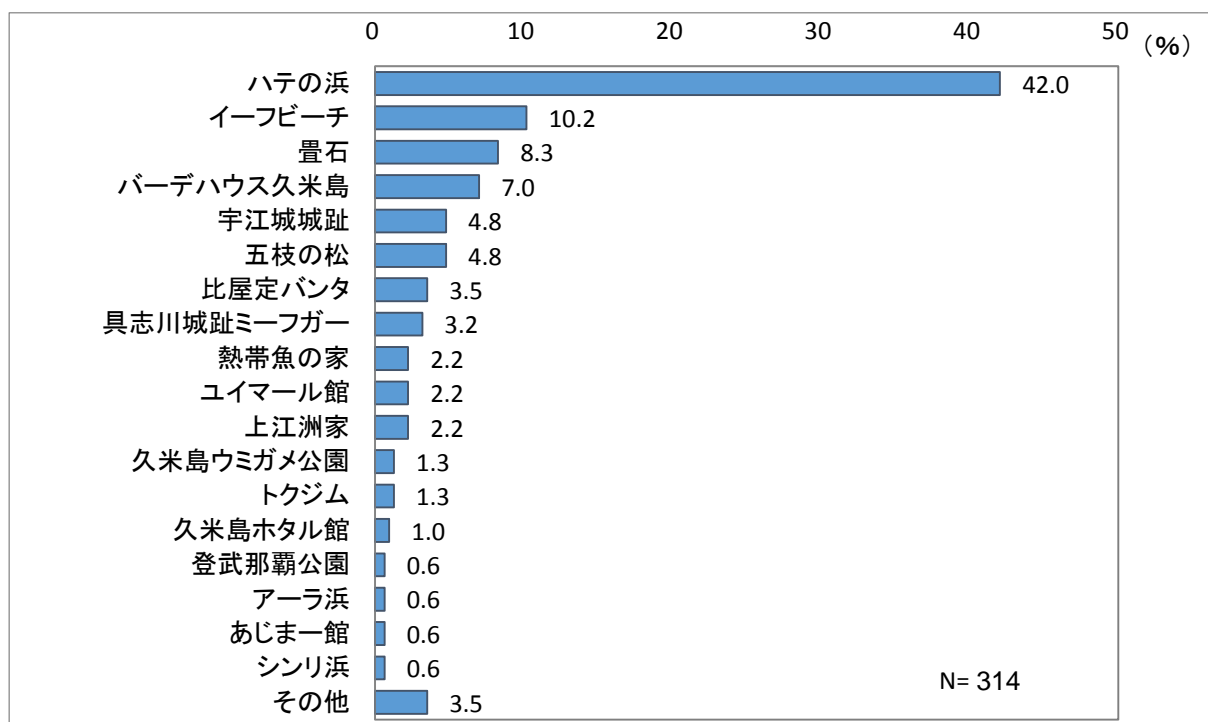
図表 5-13 最も印象に残った観光地・観光施設(八重山)



図表 5-14 最も印象に残った観光地・観光施設（宮古）

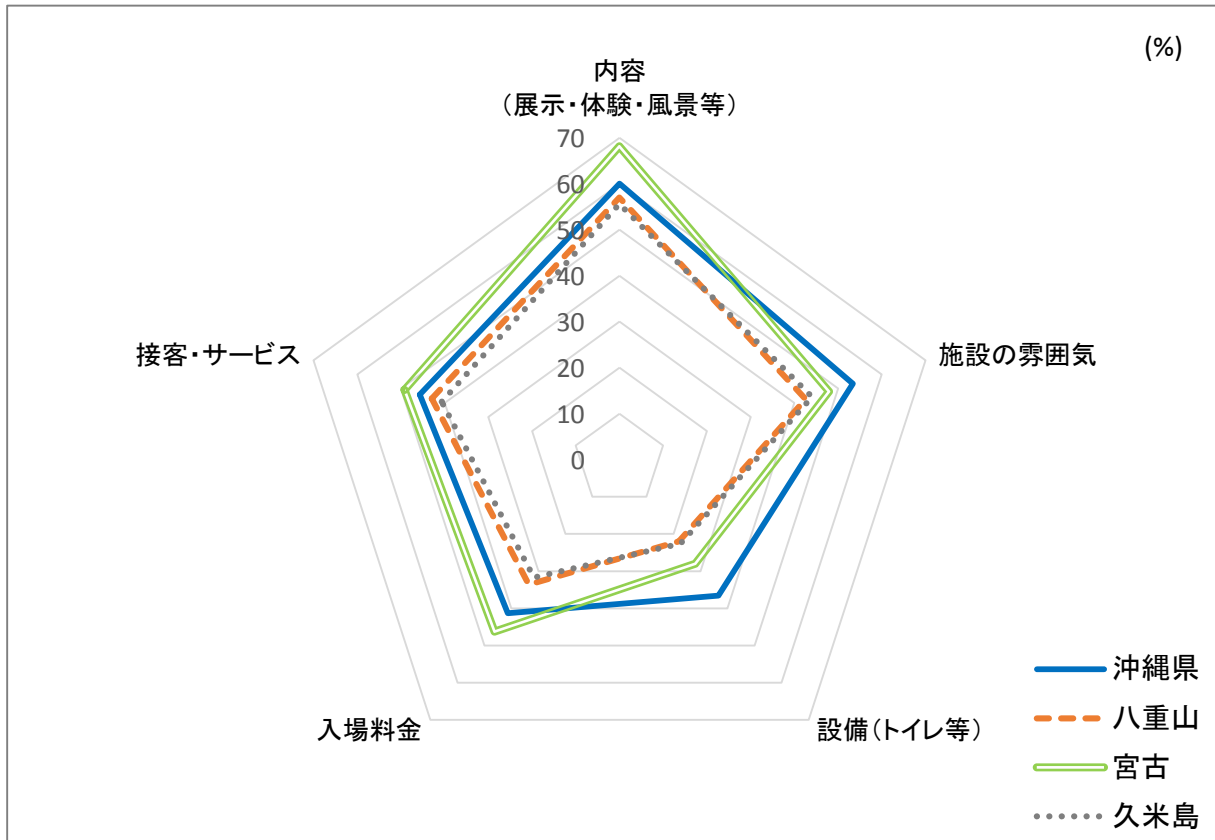


図表 5-15 最も印象に残った観光地・観光施設（久米島）



(2) 満足度の離島間比較

図表 5-16 離島間の“大変満足”比率の比較（最も印象に残った観光地・観光施設）

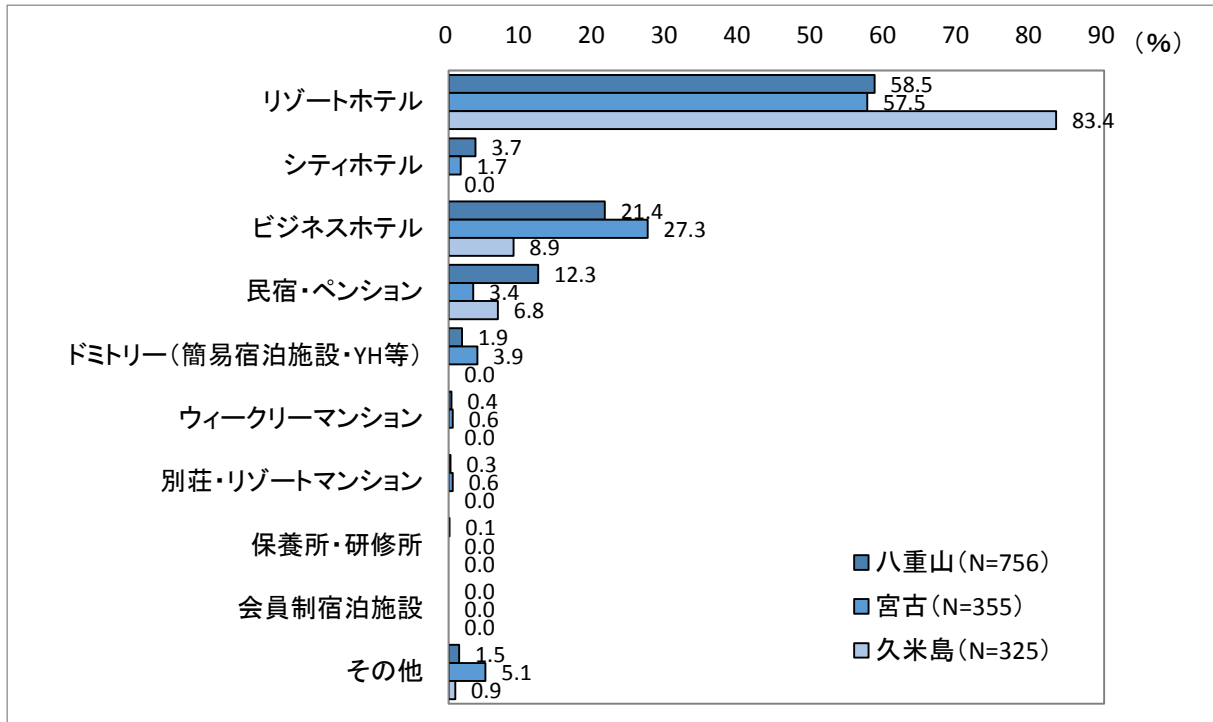


5-7. 宿泊施設の満足度

宿泊施設の“大変満足”比率について主要離島間と沖縄県全体とで比較をすると、『部屋』では宮古圏域が高く、『接客・サービス』や『設備（大浴場、スパ、ジム等）』では八重山圏域が高い。久米島の満足度は全ての項目において低い。（図表5-18）

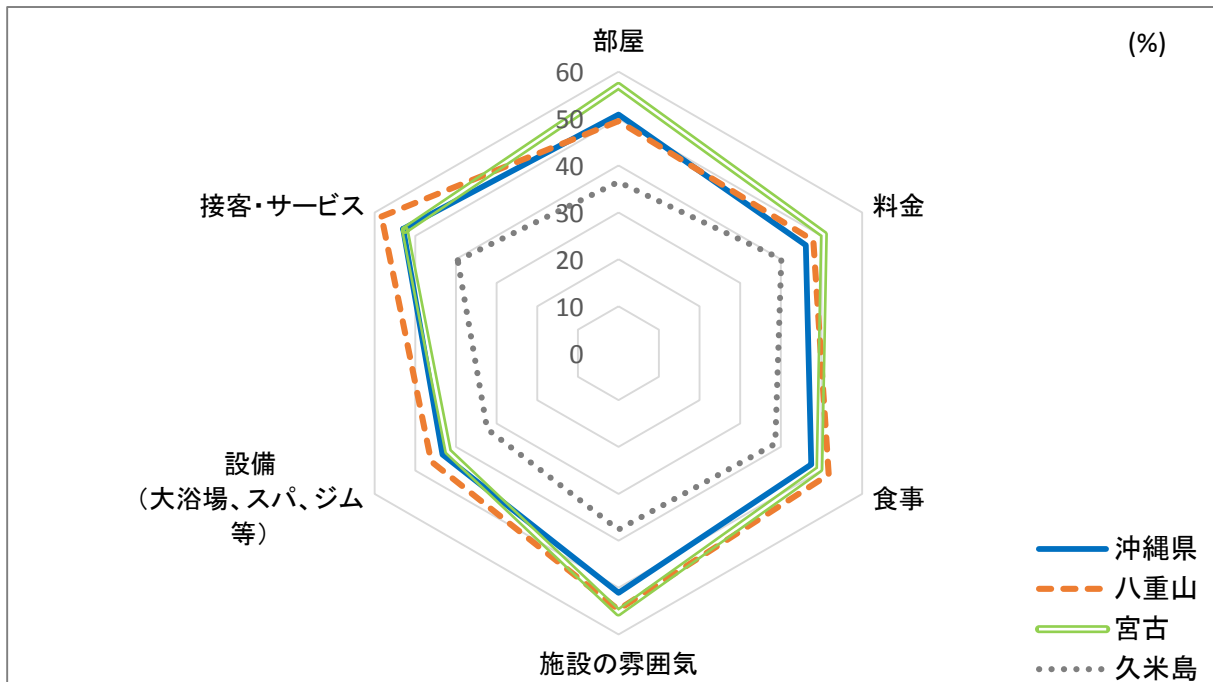
(1) 最も印象に残った宿泊施設

図表 5-17 最も印象に残った宿泊施設



(2) 満足度の離島間比較

図表 5-18 離島間の“大変満足”比率の比較（最も印象に残った宿泊施設）



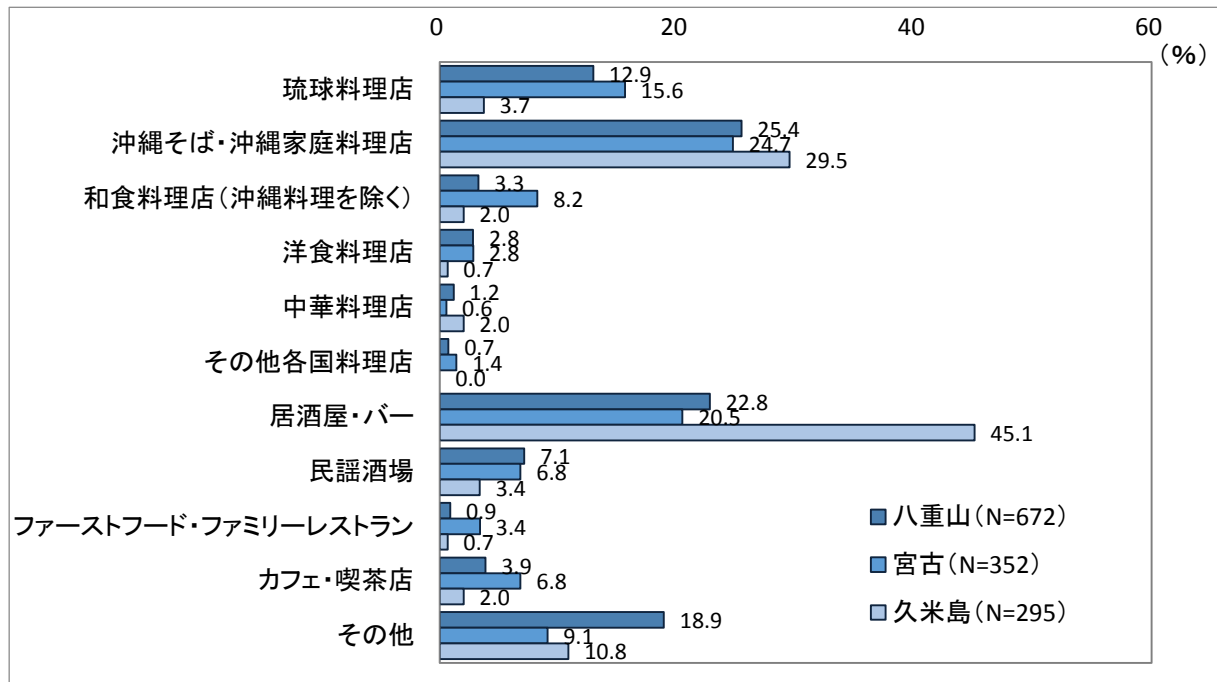
5-8. 飲食施設の満足度

最も印象に残った飲食施設は、八重山圏域と宮古圏域では「沖縄そば・沖縄家庭料理店」が最も多いが、久米島では「居酒屋・バー」が最も多い。(図表5-19)

飲食施設の“大変満足”比率について主要離島間と沖縄県全体とで比較をすると、宮古圏域では『接客・サービス』や『店の設備』、『店の雰囲気』が、久米島では『値段』の満足度が高い。(図表5-20)

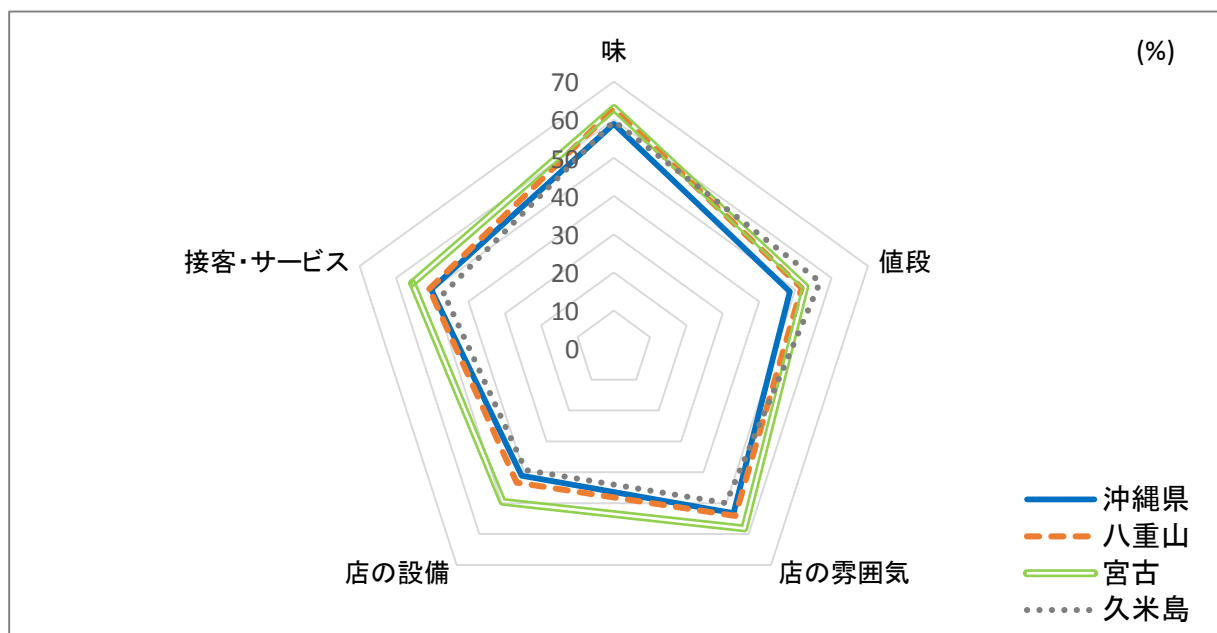
(1) 最も印象に残った飲食施設

図表 5-19 最も印象に残った飲食施設



(2) 満足度の離島間比較

図表 5-20 離島間の“大変満足”比率の比較 (最も印象に残った飲食施設)

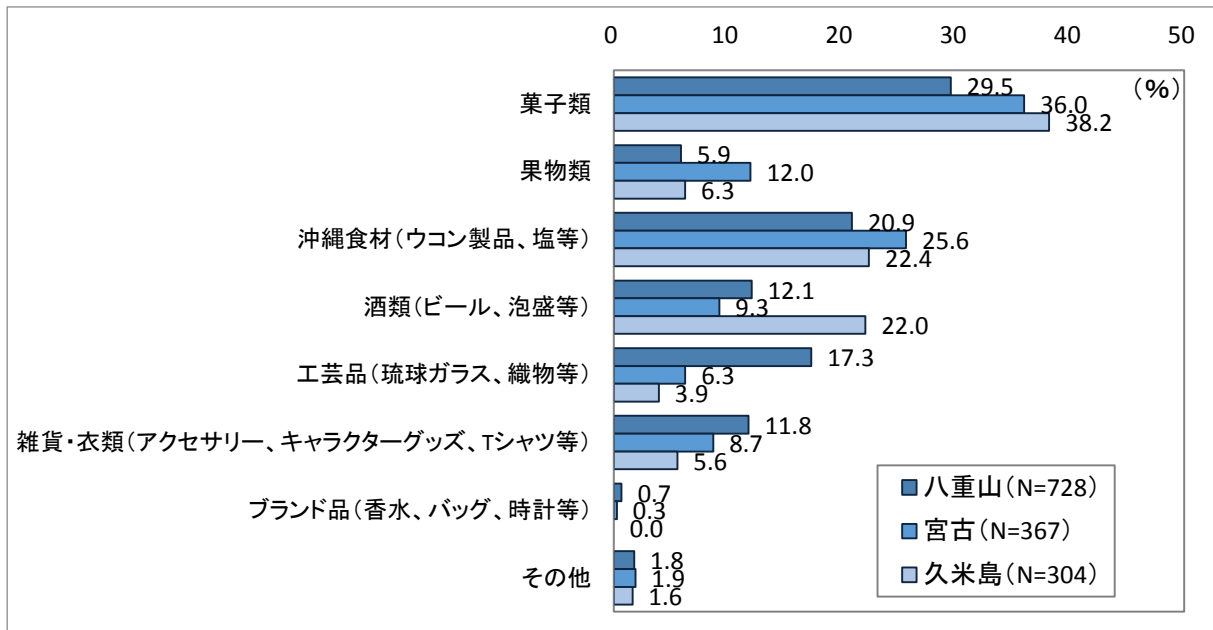


5-9. 土産品の満足度

最も印象に残った土産品は、全体的に「菓子類」と「沖縄食材」が多いものの、八重山圏域では「工芸品」や「雑貨・衣類」、宮古圏域では「果物類」、久米島では「酒類」なども多い。
 (図表5-21) 土産品の“大変満足”比率について主要離島間と沖縄県全体とで比較をすると、あまり大きな差は見られない。(図表5-22)

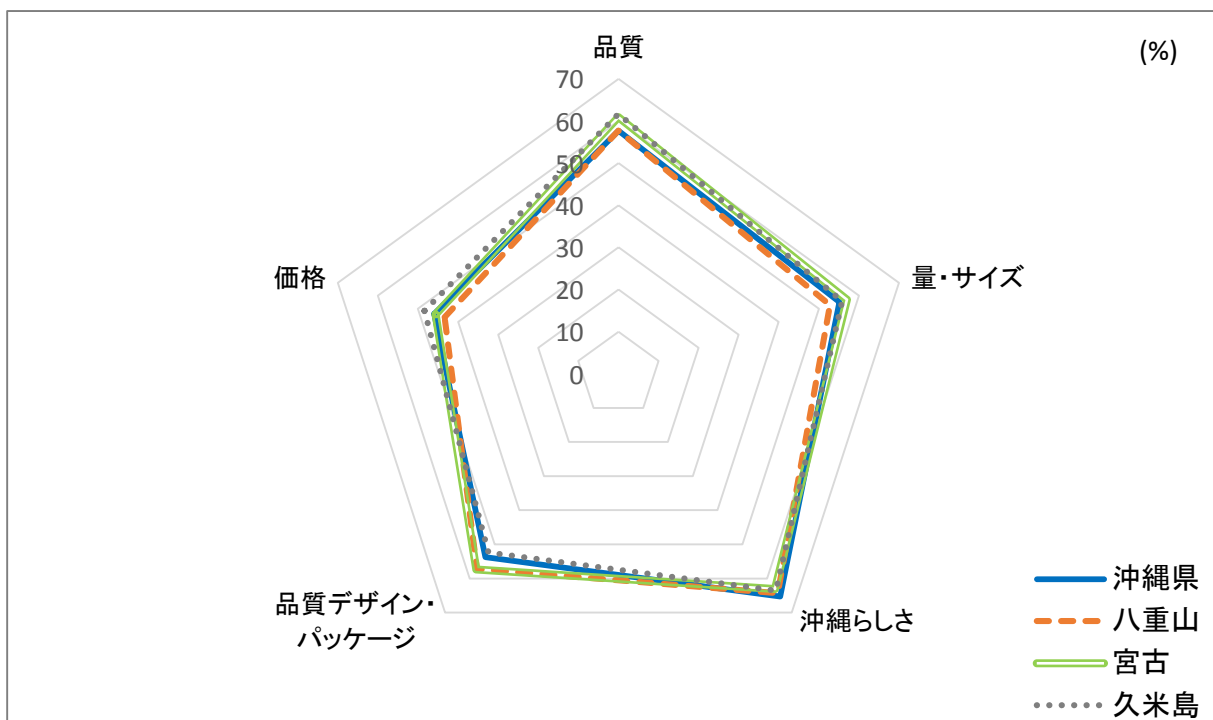
(1) 土産品の満足度

図表 5-21 最も印象に残った土産品



(2) 満足度の離島間比較

図表 5-22 離島間の“大変満足”比率の比較(最も印象に残った土産品)

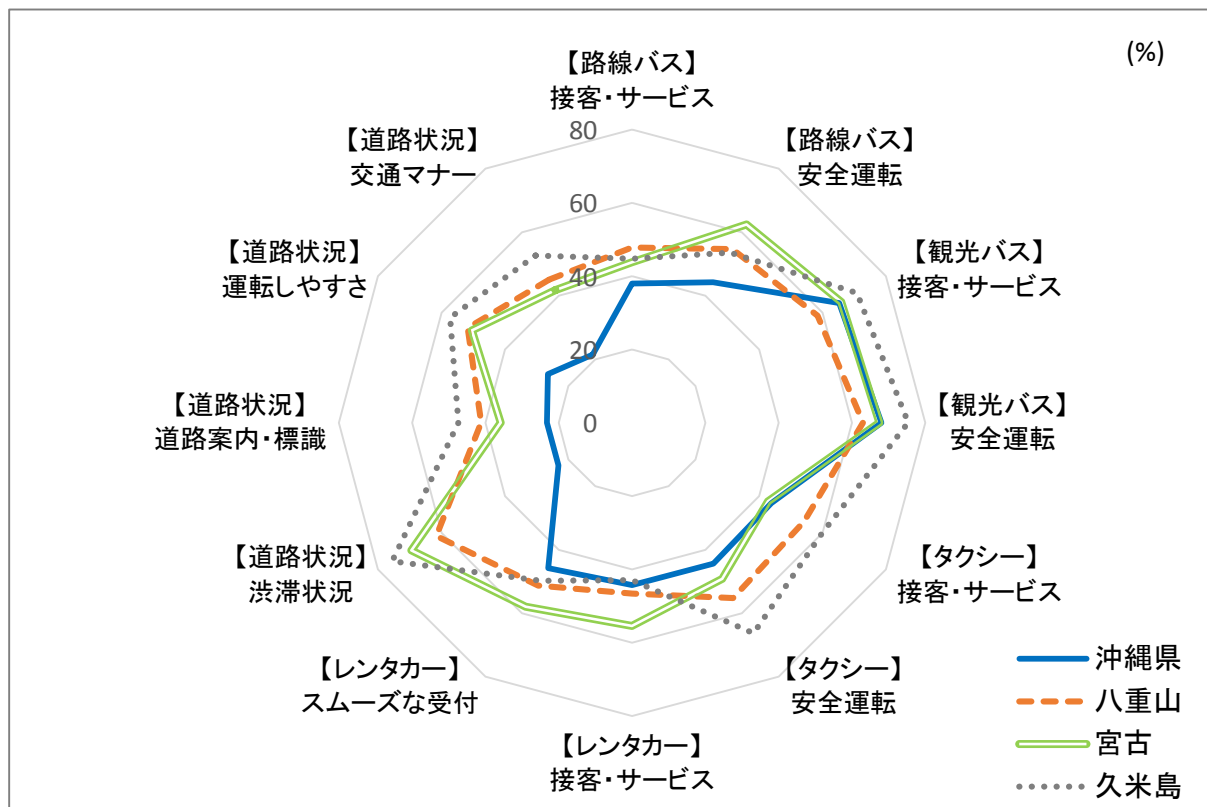


5-10. 交通機関や道路状況の満足度

交通機関や道路状況の“大変満足”比率について主要離島間と沖縄県全体とで比較をすると、久米島では【観光バス】や【タクシー】、【道路状況】の満足度が高い。宮古圏域は【レンタカー】の満足度が高い一方、【タクシー】の満足度が低い。沖縄県全体と比較すると、主要離島は【道路状況】の満足度が比較的高い。(図表5-23)

(1) 離島間の満足度比較

図表 5-23 離島間の“大変満足”比率の比較 (交通機関や道路状況)



5-11. 満足度調査から見た離島観光の課題

旅行全体の満足度では宮古圏域と八重山圏域が高く、久米島がやや低い。推奨意向も満足度と同様、宮古圏域と八重山圏域が高く、久米島がやや低い。久米島への再訪意向は、“5年後以降も行かないと思う”の比率が他の離島より高いが、同時に（今後5年間に）“6回以上”の比率も高いため、久米島は1度の来訪に留まるか、リピーターになるか、好みが分かると言える。また久米島は、沖縄県全体と比べて『観光施設や文化体験』、『宿泊施設』、『土産品』の満足度が低いものの、『海の美しさ』や『森や川の美しさ』、『景観』といった自然資源の満足度はやや高い。自然資源については十分な魅力があるため、『観光施設や文化体験』、『宿泊施設』、『土産品』といった点で改善をすれば、旅行全体の満足度向上も十分期待できる。

具体的な課題点として、八重山圏域では「観光地・観光施設」が挙げられる。「観光地・観光施設」は主に海や川などの自然資源であるが、特に『施設の雰囲気』や『設備（トイレ等）』、『入場料金』の点で満足度が低いため改善が求められる。久米島では特に「宿泊施設」の満足度が低い。久米島の「宿泊施設」は『部屋』、『料金』、『食事』、『施設の雰囲気』、『設備（大浴場、スパ、ジム等）』、『接客・サービス』、全ての点において改善が必要である。また久米島は選択できる宿泊施設が少ないことも、満足度に影響している可能性がある。宮古圏域では「交通機関や道路状況」のうち『タクシー』の満足度がやや低く、『接客・サービス』と『安全運転』ともに改善が求められる。

満足度が高い項目に着目すると、宮古圏域では『海の美しさ』とそれに関連する「体験活動」の満足度が特に高い。『海の美しさ』への期待度では八重山圏域や久米島と大きく変わらないものの、満足度の高さでは突出している。そのため宮古圏域では、旅行前のイメージとして『海の美しさ』の魅力を中心に押し出すことで、更なる誘客に結び付けることが期待できる。

また、「体験活動」の満足度については、『活動の内容』、『施設・場所の雰囲気』、『施設・場所の安全性』、『設備（シャワー、トイレ等）』、『接客・サービス』の点で八重山圏域と宮古圏域がともに高い傾向にあるが、『料金』の点では八重山圏域よりも宮古圏域の方が高い。宮古圏域では、体験活動から得られる満足度と料金のバランスがとれているとみられる。

また「土産品」について、印象に残った土産品としては全ての離島で「菓子類」や「沖縄食材」の選択が多いものの、それ以外に選択されている商品ではやや違いがみられる。八重山圏域では「工芸品」と「雑貨・衣類」、宮古圏域では「果物類」、久米島では「酒類」などが比較的多い傾向にある。特に『沖縄らしさ』の点で満足度が高いため、土産品についてはこれらの商品を中心に、各離島それぞれで沖縄らしい魅力を高めていくことが重要である。